

# ムギ類赤かび病情報第2号

平成29年5月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 今後の気象状況に注意しましょう

### 1 赤かび病の生態

赤かび病の第1次伝染源は子のう胞子で、湿潤状態で飛散します。雨が降った当日から2日後にかけて子のう胞子が多く飛散するため、降雨後は赤かび病菌に感染する可能性が高まります。また、発病穂からの第2次伝染は降雨時に起こります。したがって、降雨後、早急に防除を行うことが大切です。

### 2 今後の気象状況と赤かび病の発生予測

名古屋地方気象台4月27日発表の1か月予報によると、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れる日が多い見込みです。気温は高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いと予想されており、赤かび病が多発する気象条件ではありません。しかし、開花期から乳熟期に降雨が続く場合は急激に感染が拡大するので、今後の気象状況によっては注意が必要です。

### 3 防除対策

ほ場で発病穂が認められ、降雨が予想される場合は、発病穂からの第2次伝染による被害を防止するため、乳熟期頃を目安に防除が必要になります。2回目の防除を実施する場合は、下表を参考に1回目の防除とは異なる系統の薬剤を地域の実情に応じて選びましょう。

なお、排水不良のほ場では、本病の発生が助長されますので、排水溝の手入れを実施しましょう。

表 小麦における赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	薬剤の系統
小麦	ベルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	グアニジン
	ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	ストロビルリン
	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	ベンズイミダゾール
	トップジンMゾル			
	ベフラン液剤12.5	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	グアニジン
	ベフラン液剤25			
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	EBI
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	EBI
トリフミン乳剤	収穫3日前まで	3回以内	EBI	
無人ヘリコプター用				
作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	薬剤の系統
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	ベンズイミダゾール
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	EBI
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	EBI